

# 名古屋外国語大学 数理・データサイエンス教育プログラム(MDS) リテラシーレベル

## 名古屋外国語大学 数理・データサイエンス教育プログラムに係る自己点検・評価の概要(2025年度)

### 1. 点検・評価の実施

名古屋外国語大学メディア情報・データ科学センター データ科学教育研究部門が主体となり、2025年度における「数理・データサイエンス教育プログラム (MDS)」を構成する授業科目について点検・評価を行った。

### 2. 点検・評価の対象

当該プログラムを構成する8科目「情報リテラシー」、「データサイエンスA」、「データサイエンスB」、「プログラミング言語」、「AI・データサイエンスと現代社会」、「社会調査法」、「AIとの共生社会」、「Contemporary Culture and Data Science」について、点検・評価を行った。

### 3. 点検・評価の根拠資料

- ・ 上記科目を対象とする「数理・データサイエンス教育プログラム (MDS) 関係科目授業評価アンケート2025年度1期」  
「数理・データサイエンス教育プログラム (MDS) 関係科目授業評価アンケート2025年度2期」
- ・ 上記科目のシラバス、履修要項
- ・ 上記科目の履修状況に関するデータ

### 4. 自己点検・評価の結果の総括

後述の4つの視点から自己点検・評価を実施した。プログラムの履修者数および修了率は高い水準にある。アンケート調査から学生の満足度および理解度は総じて高い。しかし、一部の科目において授業のレベルと進み具合に不満がみられた。科目を提供している部門と連携を取り、受講生の理解度を考慮した授業進行や、予習・復習を行うよう指導を進めていくこととなった。また、本学卒業生が就職している企業へのアンケートも行った。2026年度からは、現行プログラム構成科目の更新を行い、応用基礎レベルプログラムを開始する。学生への周知と、プログラム内容の改善を進めていきたい。

## 《点検・評価結果の概要》

### 1. 教育プログラムの履修・修了状況・学習成果の把握・改善

年々、修了者数が増えており、2025年度入学生のうち50.8%が修了している。必修科目である「データサイエンスA」の履修者の伸びが影響しており、これまでのプログラム周知活動と授業改善の効果が出たものと考えられる。

### 2. 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度・後輩等他の学生への推奨度の把握・改善

「情報リテラシー」、「データサイエンスA」、「データサイエンスB」、「プログラミング言語」、「AI・データサイエンスと現代社会」、「社会調査法」、「AIとの共生社会」、「Contemporary Culture and Data Science」のアンケート結果の概要は表のとおりである。

いずれの項目も昨年度と同様に高い水準であることが確認できる。ただし、「予習・復習」「授業の進み具合」「授業レベル」に関する質問項目の数値が低い。これらについては、科目提供部門に検討を依頼した。その結果、受講生の理解レベルに合わせた教科書への変更、予習・復習の指導をするとともに確認テスト実施、TA配置といった対策を行うことになった。引き続き、これらの項目の状況を確認していきたい。

アンケート項目	平均値
この授業は、全体として満足であった	3.73
この授業には、休まず出席していた	4.08
この授業には、真剣な態度で受講した	3.99
この授業に関して予習、復習などを積極的に行った	3.06
教員はわかり易く説明していた	3.78
教員は授業に熱意を持って取り組んでいた	3.95
この授業に大変興味を持てた	3.42
授業の進み具合はどうだったか	2.64
授業のレベルはどうだったか	3.29

\* 最高点が5点、最低点1点

### 3. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

2026年度からプログラム構成科目の更新と、応用基礎レベルプログラムの開始により、より充実したプログラムになることが期待される。学生へ履修を促すための告知を行っていく予定である。

### 4. 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価・産業界からの視点による教育プログラム内容・手法等への意見

本学卒業生を採用している企業を対象にアンケートを行った。その結果、現状では本学卒業生のデータ分析力・AI活用能力は低いものの、これらの能力を期待している企業も一定数存在することが分かった。